



東実同窓会報

No.26

発行 〒144-0051 東京都大田区西蒲田8-18-1 TEL 03-3732-4481

東京実業高校同窓会会報部
<http://www.tojitsu-dosokai.com>

創立九十周年のお祝い

明けましておめでとうございます。

本年も引き続き宜しくお願い申し上げます。

創立 90 周年記念事業として施工された新校舎の建替え工事が、昨年の 12 月に竣工となり、1 月 9 日、竣工記念祝賀会が盛大に執り行われましたことを心よりお祝い申し上げます。

今年で母校は、創立九十三年目を迎えることとなりますが、新校舎は充実した近代的な設備が整えられ、学び舎にふさわしい東京実業高校に生まれ変わりました。

卒業生の中には、サッカーや野球などプロスポーツの選手としてご活躍されている方、また、タレントとして芸能界でご活躍されている方などがおられることは皆様もご存知のことと思います。

在校生では、昨年のアジアユースオリンピックで金メダル獲得のニュースや多くの生徒が各種国家試験合格の証書を手に卒業して行くことなどを聞き、東京実業高校を誇りに思うと同時に、これも創立九十三年の伝統ある重みの賜物と感じる次第です。

これからも益々の母校のご発展と、未来に続けて下さる在校生にエールを贈ると共に、同窓会の皆様のご健勝と今年も健やかな良き年でありますようご祈念申し上げます。

平成 27 年 1 月 27 日



会長 本田 位公子 (第 34 期)
(平成 26 年度定期総会にて)

協賛金ご協力のお礼

母校創立九十周年記念事業として、経年老朽化及び新耐震基準に示す強度を満たさない体育館、二号館、四号館及び五号館の建替え工事にあたり、同窓生有志各位に協賛金のご協力をお願い申し上げたところ、多数の方々がご賛同下さいました。

ご協力頂いた協賛金は、建設資金の一部として使用させて頂きました。

この場をお借りして、ご報告させて頂くと共に、ご協力頂きました皆様方に厚く御礼申し上げます。

名誉会長 上野 毅
会長 本田位公子

発行済み (No. 1 ~ No. 25) の同窓会報誌は、ホームページでご覧出来ます。
<http://www.tojitsu-dosokai.com/>

徒然なるまゝに

地球温暖化と云われて何年が過ぎているのでしょうか？ CO2 排出削減の京都議定書から早や 17 年、何も変わらず益々温暖化は進んでいるようです。

今年(平成 26 年)も又全世界で異常気象による天災が、多くの人々の生命を奪い、家々を破壊しました。地球が我々人類に警告を発しているならば、私達は真摯に受け止め、将来のことを本気で考えていかなければならないと思います。世界が一つになって良い方向へと向かうことは、何と難しいことなのでしょう。平成 26 年に天災にあわれた方々、争いによって生命を奪われた方々のご冥福を祈ることしか出来ない無力さを思わずにはいられません。

さて、東京実業高校は、体育館完成後、新校舎建替えに着々と向かって参りました。当初より完成が遅れはしましたが、12 月にはめでたく完成となり、新しい東実の出発となりました。多くの優秀な卒業生を輩出した歴史は、脈々と今に繋がっておりますが、90 年という年数は、文化の変化、人々の暮らしの変化、自然の変化など考えられない程の大きな変化をもたらしたと私達は今感じています。子供達の遊び方も変わり、放課後、外で走り廻って遊ぶ子供達の姿は、今ではほとんど見られなくなりました。その代わりに、ゲーム器、iPhone など一人で遊ぶ物が増えた為、一昔前の子供の体力、運動能力と比べると、今の子供達は、著しくそれらが低下しているとの報告も出ています。一方で医学の進歩には、目覚ましいものがあります。このまま進歩していけば、人間は不老



理事長 上野 雅子

不死も夢ではないかと思う程で、中でも iPS 細胞の発見はすばらしいものでした。自分の皮膚の細胞から、あらゆる臓器の細胞が出来れば、不治の病といわれた病気も治療が可能となり、さらに寿命も長いものとなるでしょう。それが良いか悪いかは別として、人類が益々万物の霊長となってゆくのは、間違いありません。話が脱線してしまいましたが、歴史とはどんな歴史でも、年を経る毎に思いもよらない方へと進んでゆき、その時点での歴史を紡いでいくものだと思います。今の生徒達が、この新しくなった校舎で、伸び伸びと成長をし、卒業後にどんな人生を歩み、どんな足跡を残し、この学校の歴史を作り上げていってくれるのかを楽しみに見守っていきたいと思います。

最後になりましたが、新校舎建設の為に多大なる御支援をいただき感謝致します。

(平成 26 年 12 月初旬に執筆して頂きました。)

“新校舎竣工記念式典”

平成 24 年に創立 90 周年を迎え、記念事業の体育館、2 号館、4 号館及び 5 号館の建替え工事が竣工となり、平成 27 年 1 月 9 日(金) 正午より、フェニックスアリーナ(体育館 3 階)において、竣工記念祝賀会が盛大に催されました。

当日は、午前 11 時から新校舎並びにフェニックスアリーナの見学会が行われる中、11 時 30 分から本記念事業に多大なる御支援をされた村松濱代氏(第 2 代同窓会会長・現顧問)の貢献を称え、新校舎サウスウィング 1 階に建設され、同氏の姓が冠された「村松ホール」の除幕式も行われました。

本事業に際し、多数の同窓会々員有志各位より、協賛金のご協力を頂きました。ご協力頂きました皆様方に厚くお礼申し上げます。(総務部)



新校舎(式典会場)



村松ホール(ネームプレート)



村松 濱代 顧問(祝辞)

「パンチのある人生をめざして」

物事が成就するためには、その瞬間のパンチ力が必要だと思っています。例えば個人的なことでは、この試験に合格すれば次の夢にチャレンジが出来るとか、組織的なことでは、大きな飛躍を遂げることが出来るとか…。しかし、いきなりその力は備わらないので、常日頃の訓練、準備が必要だと思っています。

本校設立 90 周年の事業として、現在建築中（平成 26 年末に完成予定）の新校舎は、設計（榊山下設計）に 2 年、建築に 3 年かかりました。東日本大震災が発生した平成 23（2011）年 3 月 11 日が工事入札の日でした。

旧校舎、特に体育館は古い耐震基準であったため、大地震に耐えられるか心配でした。また、教室棟は旅館の増築のようで、バリアフリーでなく、そもそもマスタープランがなされておらず、必要に応じて次々に増築して来たため、全体がまとまっていませんでした。また、昭和 19（1944）年蒲田の地に「東実」の木造 2 階建ての新校舎が出来た時、新校舎落成の御祝いの生徒パレードが、穴森神社から校舎まで続いたと言う話です。時代は変わり、今回の建替えでの大きな変化は、コンピューター授業で実をあげていくために特別教室でインターネット等を使用し、CRT 化を図っていくことです。

さて、新しい建物の中で、これからどういう生徒を育てたいと考えているのかということですが、一言で言うと、社会で通用する人間の育成です。義に厚く礼儀をわきまえ、皆とコミュニケーションが取れ、何事にも一所懸命に取り組む人間の育成が理想です。これからはその心構えが重要です。将来仕事に就かなければならない以



学校長 上野 毅
(平成 26 年度定期総会にて)

上は、その学力は勉強を通して取得するわけですが、高校 3 年間で一応の基礎を修得し、さらに進学をする時に備えての勉強も怠りなくする必要があります。一言で言うと、キャリア教育が重要と考えます。それは就職、進学、その先の就業に備えての教育環境づくりです。そのためには、より良いカリキュラムを研究し、実践することが必要です。教室の中で行われる授業形態も変わって行くことは確実であり、その変化に対応するために、インターネットに接続できるようにしました。また、教室以外の体験を通しての感動体験も、大いに人を成長させると 생각합니다。どこの大学に何名入ったか、就職率は何パーセントかではなく、1100 人の生徒に 1100 通りの感動体験を生み出せるような高校にしたいと願っています。

卒業生の皆が自分の人生を切り開くべくパンチを繰り出せるような人間になってほしいと思っています。

(平成 26 年 11 月下旬に執筆して頂きました。)



上野 雅子 理事長(挨拶)

上野 毅 校長(挨拶)

本田位公子会長(乾杯)



歓談

マーチングバンド部演奏

万歳三唱(閉会)

学校の近況報告（機械科・電気科・普通科・部活動・生徒会）

学校の 近況報告



副校長 知念 義裕

平成 27 年 1 月 9 日（金）、快晴のもと本校創立 92 周年式典ならびに新校舎竣工記念祝賀会が挙行され、午前には、学年ごとに記念式典が行われました。

（式典）

上野雅子理事長の挨拶に続き、ご来賓代表として 17 期生村松濱代様（商業科）よりご祝辞を賜りました。次に、上野毅学校長が、「新しい校舎には新しい秩序が必要である。生徒諸君もその新たな秩序を伝統として後輩に伝えていってほしい」という訓示をされました。続いて、永年勤続者表彰。そして、新校舎建設に多大な功績のあった山下設計事務所と戸田建設、村松様に感謝状が贈呈されました。生徒会長の松田慧君（電気科ゲーム I T コース 2 年）は、伝統ある本校を誇りに思うとともに東実を築きあげてきた親師会、同窓生、教職員への感謝の気持ちを述べました。最後に、東京実業高等学校校歌の堂々とした歌声が会場に響き渡り、小ホールに於ける式典の幕がとじられました。

（祝賀会）

正午よりフェニックスアリーナ 3 階（新体育館）にて同窓会、親師会、旧職員、学校関係者をお招きしての祝賀会。本田位公子同窓会会長による乾杯のご発声で盛大に催されましたことをご報告いたします。

（本校初のプロ野球選手）

すでにご存じの方も多いと思いますが、本校初のプロ野球選手が誕生いたしました。83 期生（平成 20 年普通科文理コース卒業）の加藤正志氏です。高校時代は 2 年秋からエースとして活躍し、3 年夏に東東京大会ベスト 4 へと導きました。卒業後は鶴見大学へ進学し 4 年秋に最優秀投手賞を受賞しました。その後、J R 東日本東北では都市対抗、日本選手権にも出場。平成 26 年秋のドラフトで東北楽天ゴールデンイーグルスに入団しました。加藤氏はその報告で 12 月 5 日（金）に来校。ちょうど 2 学期期末試験の最終日で、例年この日は、3 年生の同窓会クラス幹事の顔合わせが行われる日でしたので、加藤氏はこの幹事会にも出席、後輩に向かって、夢をあきらめないことの大切さを語ってくれました。背番号 52 番の活躍を期待したいと思います。

部活動の報告（活躍の様子）

部活動における生徒の活躍の様子を報告します。

（陸上競技部）

なんと言っても、今年の陸上部は小野川稔君（普通科ビジネスコース 2 年）の活躍を抜きにしては語れません。駅伝から競歩へと転向したのが 1 年次の夏。すぐに頭角をあらわし、バンコクでのユースオリンピックアジア大会に日本代表として 10000m 競歩の部に出場、銀メダルを獲得して本大会への出場権を獲得しました。その後、8 月上旬のインターハイでは 5000m 競歩の部で 2 位。そして、中国南京でのユースオリンピック本大会では、見事優勝。初めて表彰台の頂点に立ったのが、世界一の栄冠を決める大舞台でした。金メダルを首にかけ表彰台に立った時の感想は、本人曰く、「信じられなかったけど、眺めがよかった」そうです。

平成 22 年より 4 年連続で全国大会に出場した男子駅伝チームは、今年度全国大会への出場はかないませんが、都 3 位という結果は素晴らしく、昨年の優勝時のタイムを上回る成績でした。今後に期待します。

（マーチングバンド部）

今年も全国大会への出場権を獲得。12 月 14 日の「さいたまスーパーアリーナ」での成績は銀賞でした。

（サッカー部）

第 93 回全国サッカー選手権大会東京都予選会（A ブロック）ベスト 16。

（野球部）

第 96 回全国高等学校選手権大会東東京大会ベスト 32。

教職員の永年勤続表彰及び異動

➤ 永年勤続表彰者（※敬称略）

勤続 40 年 森 吉男（理科）、鈴木 光男（英語）
勤続 30 年 山下 秀徳（体育）、日比野重光（理科）
小畑 雅一（商業）

勤続 10 年 小島 健市（商業）

➤ 教職員の異動（※敬称略）

退職教職員 上野 毅（校長）、千田 一雄（機械）
河野 年光（機械）、森 吉男（理科）
小野 博司（社会）、鈴木 武夫（機械）
太田 耕造（事務長）、佐藤 卓司（機械）
新 任 知念 義裕（校長）、小畑 雅一（副校長）
田中 久也（事務長）
専 任 田島 恵（体育）、永津 圭一（電気）
実習助手 田原 定（機械）

機械科の 近況報告



機械科科长 佐藤 卓司

平成 26 年度、機械科は新入生 128 名を迎えました。

今年度の機械科の在籍数は、平成 26 年 4 月 1 日現在、345 名で内訳は、1 学年 128 名（3 クラス）、2 学年 89 名（2 クラス）、3 学年 128 名（3 クラス）となります。

各学年のクラス担任は、1 学年 A 組：村山隆[機械]、B 組：関根勝[数学]、C 組：児島大祐[体育]、2 学年 A 組：増田修一[機械]、B 組：宮地裕[国語]、3 学年 A 組：村上信人[機械]、B 組：佐藤卓司[機械]、C 組：松田稔[体育]の各先生方です。

新体育館（フェニックスアリーナ）が平成 24 年 10 月に完成し、1 階フロアに各実習室を集約しました。

平成 24 年度は、実習内容の充実ということで、CNC 旋盤、アームロボットの更新、CAD/CAM システムの新規導入、更に平成 25 年度には、ロボドリルや精密平面研削盤、材料実習室の硬度計 3 機種を更新しました。他にも、レゴマインドストーム、3D 造形機などを新規に導入しました。そして、これらを連動させて「ものづくり」の楽しさを実感させるべく、先生方も日々研鑽しております。

将来の進路設計に向けての資格取得にも従来通り力を入れており、現 3 年生の取得状況を継続して掲載すると、小型車両系建設機械 83 名合格（合格率 100%）、有機溶剤作業主任者 57 名合格（合格率 63%）、1ton 未満移動式クレーン・玉掛け 75 名合格（合格率 99%）、と多くの生徒が挑戦し、取得しております。

また、機械科からも定着の感がある、国家試験「第二種電気工事士」に、機械科 3 年の生徒が 1 名合格しました。

平成 25 年 1 月から始まった放課後の講習会[学科・実技]等で、地道な努力の積み重ねが功を奏し、見事合格したことについては、特筆すべきところであります。

同窓会の益々のご発展と同窓生の皆様のご多幸をお祈りし、機械科の近況報告とさせていただきます。



平成 26 年度 第二種電気工事士合格者

電気科の 近況報告



電気科科长 長谷川 浩

今年度（平成 26 年）、電気科ゲーム I T コースは五期生として、29 名（男子 28 名・女子 1 名）の入学者がありました。また、電気コースの生徒は定員を超えてしまい、67 名（男子のみ）の生徒が入学しました。

12 月 1 日現在、電気科では女子 2 名の在籍を含め、258 名の生徒がおり、昨年同様に 1 学年から 3 学年までの全学年が 3 クラス（合計 9 クラス）体制になっています。

今年度も広報活動の一環として、9 月に幕張メッセで開催された「東京ゲームショウ 2014」にゲーム I T コースの出展を致しました。3 年生の制作した作品は毎年完成度が上がり、来場された方々に驚きを与えています。また、今年は生徒にもブースの手伝いをしてもらい、作品の説明をしてもらったところ、来場者から好評を博しました。

ここで、平成 26 年度の「第二種電気工事士」（国家資格）の合格状況を報告致します。7 月下旬の技能試験に 33 名がチャレンジし、30 名が見事合格。免状を手にすることが出来ました。技能合格率は 91%で、100%には届きませんでしたが、機械科の生徒も 1 名合格させることが出来ました。30 名の合格数は平成 4 年の 35 名に次いで、電気科第 3 位となりました。また、上位資格である「第一種電気工事士」にも、昨年度 2 名の合格者（ゲーム I T コース初の 1 名と、ビジネスコース女子 1 名）を出すことが出来ました。第一種に電気科以外の生徒、しかも、女子生徒が合格したのは本当に驚きでした。

他の国家資格としてはゲーム I T コースの生徒が昨年度、「I T パスポート試験」に 2 名合格。今年度は「基本情報技術者試験（FE）」に初の合格者を出すことが出来ました。

12 月に 90 周年記念事業の一環である新校舎が完成しました。

電気科の実習室は全て新校舎（サウスウイング）に設置され、新たな環境で実習に取り組んでいます。電力実習設備も一新致しましたので、同窓生の皆様も是非、見に来て頂ければと思います。

東京実業高校の最新情報は、ホームページを随時更新し、紹介しておりますので、ご覧下さい！

<http://www.tojitsu.ed.jp/>

普通科の近況報告

ビジネスコース



ビジネスコース科長
小島 茂

平成26年11月現在、普通科ビジネスコースには363人の生徒が在籍して、毎日の授業や検定試験（簿記・情報処理・ワープロ・社会常識能力・ビジネス能力）に向けて勉強に励んでいます。キャリア教育も行い職業的自立も目指しています。

11月のオープンハイスクールの珠算大会は、1年・町田直輝、2年・松浦琢人、3年・松本拓己が、簿記大会は、1年・関将基、2年・藤田芽緯、3年・竹田聖康が、ワープロ大会は、1年・久家慶太、2年・窪木新太、3年・奈良田時生が優勝しました。

今年度も『第4回東実ビジネスフェスタ』を開催し、ビジネスの場面を想定して学習した知識と技術を実践出来る場として3学年の代表の生徒が、仕入れ、装飾、販売に分かれ東日本大震災で特に被害のあった岩手県、宮城県、福島県の物産を販売しました。

1年生はパソコンでポスター作成を、2・3年生はマーケティング活動をしました。

<3年のメンバー>

岩手県：◎佐藤優子・本荘和音・坪井輝・加藤和義

宮城県：◎齊藤卓也・松本拓己

福島県：◎根本敦史・山形明日香・石井秀夫・

占部春香

ビジネスフェスタ 福島商店 (日本橋ふくしま館より)



文理コース



文理コース科長
藤吉 大介

昭和51(1976)年に設立された普通科は、平成13(2001)年より普通科文理コースと名称を変更し、今年度で38年目を迎えました。

設置当時の日本の大学進学率は20%程度でしたが、平成21(2009)年度には50%を超え、高校生の二人に一人は大学に進学する時代となりました。

文理コースの平成25(2013)年度の大学への進学率は56.7%であり、ますます本校における存在意義は高まっています。

さて、文理コースでは、次の三点を指導の重点としています。

- (1) 基礎学力の定着。
- (2) 生徒たちのレベルに合った学習の展開。
- (3) 大学進学に向けた実力の向上。

(1)については、毎週月曜日の1時間目に到達確認テストを実施しています。国語・数学・英語の一週間分の授業の定着度を確認し、合格点に達していない場合は、放課後の補習で定着を図っています。さらに今年度は、一般常識についても出題し、広く世の中について関心を高めるよう促しています。

(2)については、2年次(英・数)、3年次(国・英)に習熟度別授業を展開し、生徒のレベルにあった授業で、理解度を高めるようにしています。

(3)では、城南予備校から講師を派遣してもらい、1・2年生の希望者を対象に土曜講座を実施しています。今年度は、4月より講座が始まりました。年間20回の土曜日が、土曜講座となります。土曜講座のない土曜日には、全国模試と英検の受験日となりますので、土曜講座を受講している生徒は、学校6日制という意識で学習しています。内容は、英語と数学に特化しました。

文理コースには、平成27年1月1日現在で、1学年39名、2学年44名、3学年75名の計158名の生徒が在籍しています。3年生は既に75名中A0・推薦入試で38名が大学に、12名が専門学校に合格しています。また、1名就職も決定しました。それ以外の24名の生徒は、一般入試を見据え、追い込みの時期に入っています。

本会報が発行されるころに、全生徒が「サクラサク」ことを祈っています。

部活動報告(柔道部)



監督 宮地 裕



顧問 千田 一雄

同窓会報に紹介されるのは、初めてとなりますので、まず歴史を紹介致します。

柔道部は昭和 31 (1956) 年に有志により同好会として創設され、翌年の昭和 32 年に部に昇格し、現在に至っています。現在までの部員卒業生は 300 人を超え、歴史のある部であります。歴代の顧問の先生方は、初代 (故) 大平礼五郎、(故) 原 庸、佐藤節夫、疋田伸汎、昭和 50 (1975) 年から (現顧問) 千田一雄、平成 19 (2007) 年度から (現監督) 宮地裕となっております。

OB 会は昭和 33 年頃に創設され、現会長横山清一先輩 (第 26 期) のもと、毎年、忘年会や新年会を開催するとともに、山中湖学寮合宿にも多数の OB が参加し、現役生徒への激励と合同練習を行っています。また、合宿期間中の土曜日には、バーベキューを実施し、現役生徒と OB 同士の親睦を深めています。

現在の戦績としましては、インターハイ支部大会、関東大会支部大会にて好成績を残すも、本大会には出場できず悔しい思いをしています。

平成 24 年 10 月にフェニックスアリーナ (新体育館) が完成し、専用道場も新設されました。

少ない部員ではありますが、各種大会で好成績が残せるよう、連日練習に励んでいます。

今後も応援の程、よろしくお願い致します。



OB・OG集合写真(上)／生徒とOB・OG集合写真(下)

生徒会報告



生徒会長 松田 慧

今年度は、執行部に恵まれ 24 人と歴代最大の人数で、今までにない新しい生徒会、新しい東実を目標に日々活動しています。

私たちの主な活動は、諸行事の企画・運営、生徒会誌「Together」、 「蒲公英」の発行や各委員会会議の招集、司会を含む運営です。

一年間の活動を振り返ると、まず 4 月に行われた新入生歓迎会です。この会の企画・運営は、昨年度の生徒会執行部の先輩方が中心で行われました。新入生の皆様を温かく歓迎し、部活動紹介や行事、委員会の説明を中心に新入生が東実生活をスムーズにスタートできるよう企画しました。

5 月には生徒会役員選挙が行われました。そこで新しい 3 役が選ばれ、私たち新役員 24 名が活動していくことになりました。私も生徒会長となり執行部員 23 名をまとめ、全校生徒の先頭に立つ責任を感じ、昨年度より一層身を引き締め、努力していく決意をしました。

6 月には生徒総会が行われました。役員全員で協力し、一年間の生徒会活動の承認と要望案の承認をいただきました。

7 月には東京高校生徒会と合同で、イベントプランニングという少人数でのグループ活動を体験し、交流を深めました。また、中学生対象のサマースクールでは、学校紹介ビデオやクイズの動画を作成しました。

2 学期に入り、本校二大行事の一つ体育祭が行われ、全校生徒を動かす司会進行、運営の難しさを知りました。もう一つのオープンハイスクールではミニサークルという企画がありました。この企画は同じ趣味を持った仲間を集め、その趣味を発表するというものです。今年度は男子ダンスサークルと落語サークルが発表しました。

東京実業の大きなイベントも終わり、新校舎完成が近づく今、我々生徒会執行部も今まで以上に気を引き締め、東京実業の新しい基盤となるよう努めてまいります。

今後ともご支援の程、宜しくお願い致します。



オープンハイスクール

平成26年 定期総会（収支決算報告・役員・事業計画）

平成25年度 収支決算報告書

（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）

収 入 の 部			支 出 の 部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
前年度繰越金(普通)	3,706,610	3,706,610	事務消耗品費	400,000	428,153
入会金	3,500,000	3,540,000	通信連絡費	130,000	60,736
寄付金	0	10,000	ホームページ管理費	170,000	161,469
広告費	40,000	35,000	印刷費	80,000	126,000
総会会費	180,000	204,000	会議費	400,000	346,605
旅行会費	450,000	336,000	総会助成費	400,000	418,073
新年会会費	560,000	304,500	総会会費	180,000	294,000
東実祭	140,000	150,000	旅行助成費	100,000	109,254
受取利息	390	341	旅行会費	450,000	346,000
雑収入	200,000	256,000	新年会助成費	100,000	125,703
(雑収入内訳)			新年会会費	560,000	460,500
総会		(90,000)	東実祭費	140,000	150,000
旅行		(10,000)	東実祭助成費	0	8,885
新年会		(156,000)	会報発行費	400,000	638,710
			慶弔費	300,000	330,000
			卒業記念品費	350,000	317,730
			積立金	400,000	270,000
			交通費	10,000	10,500
			予備費	500,000	400,000
			次年度繰越金(普通)	3,707,000	3,540,133
合 計	8,777,000	8,542,451	合 計	8,777,000	8,542,451

積立金等次年度繰越金内訳（別途会計）

金融機関名	前年度残高	増 減	利 息	本年度残高	備 考
定期預金(みずほ)	10,423,495	270,000	2,082	10,695,577	定期預金
定期預金(東京三菱UFJ)	10,108,665	0	2,417	10,111,082	定期預金
短期定期預金(みずほ)	13,373,871	0	16,001	13,389,872	1.5年定期
合 計	33,906,031	270,000	20,500	34,196,531	

監査報告書

東京実業高校同窓会の平成25年度（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）の収支決算報告書を監査致しました。その結果適正且つ妥当であることを認めます。

平成26年5月17日

会計監査 川名 重士
同 木村 恭久

平成26年(第34回) 定期総会次第

司 会 副 会 長 戸田 三光

開 会
1. 会長挨拶 会 長 本田位公子
2. 名誉会長（学校長）挨拶 名誉会長 上野 毅
3. 議式退席
4. 議事録署名人選出
5. 議事
第1号議案 平成25年度 事業報告 副 会 長 酒井 利夫
第2号議案 平成25年度 収支決算報告 副 会 長 白根 正明
平成25年度 監査報告 会 計 監 査 木村 泰久
第3号議案 平成26年度 事業計画（案）同 会 長 川名 重士
第4号議案 平成26年度 収支予算（案）副 会 長 上野 雅子
第5号議案 任期満了に伴う役員改選 常任幹事 村山 隆
6. 役員紹介 司 会 関根 秀夫
7. 新会長挨拶 司 会 酒井 利夫
8. 第34期（平成26年3月卒業）幹事紹介
閉 会

懇親会次第

司 会 副 会 長 酒井 利夫

開 会
1. 会長挨拶 新会長 上野 雅子
2. 理事長挨拶 理 事 長 村松 濱代
3. 顧問挨拶 顧 問 矢沢 秀一
4. 来賓紹介・挨拶 東京高校同窓会 会 長 矢野 秀一
5. 出席教職員紹介・挨拶 校内幹事長 村山 隆
6. 学校近況報告・乾杯 副校長 知念 義裕
7. 懇談
8. 校歌斉唱 指導・常任幹事 関根 秀夫
9. 閉会式 副会長 酒井 利夫
閉 会



➤ 定期総会

平成26年5月31日（土曜・天気：晴れ・最高気温：31.6℃）午後3時から、「プラザ・アペア」にて、「平成26年（第34回）定期総会」を開催しました。

本田位公子会長、上野毅名誉会長の挨拶の後、本田会長が議長に選任され、次の議案が審議されました。

- ・第1号議案 平成25年度事業報告
- ・第2号議案 平成25年度収支決算報告並びに監査報告
- ・第3号議案 平成26年度事業計画（案）
- ・第4号議案 平成26年度収支予算（案）
- ・第5号議案 任期満了に伴う役員改選

全ての議案は、原案通り承認可決され、午後3時40分閉会しました。

なお、第5号議案の役員改選において選任された役員については、次ページの「平成26年度同窓会組織図」の通りです。

➤ 懇親会

総会後、午後4時から、94名（ご来賓・学校関係14名、会員80名）の出席のもとに懇親会を開催しました。

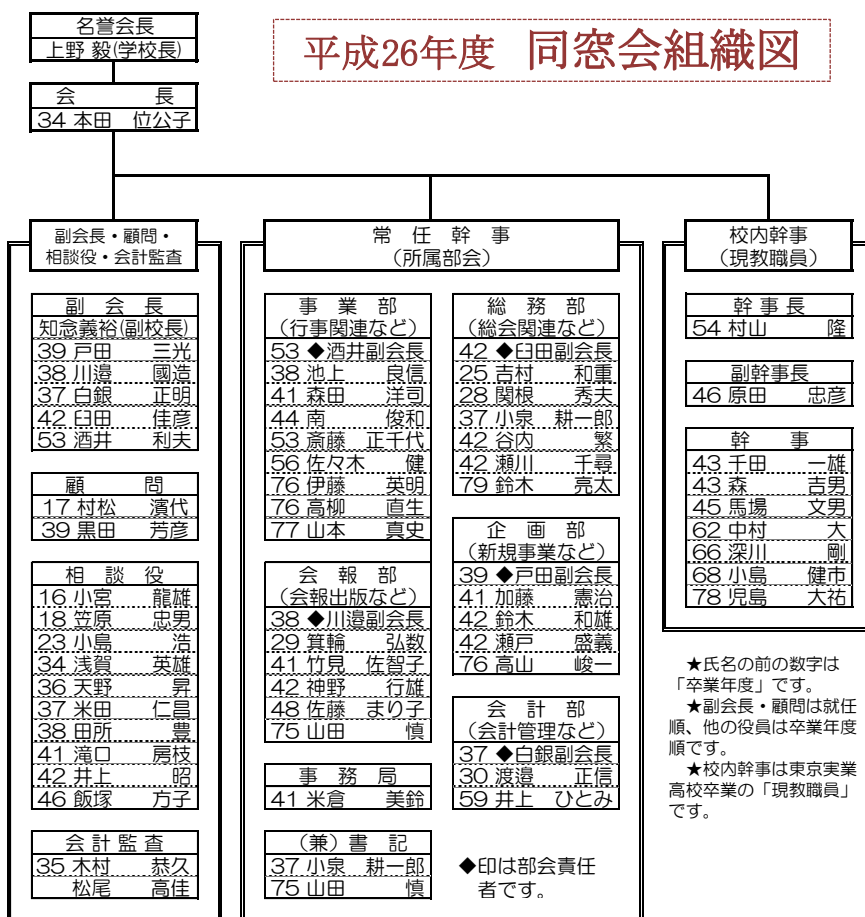
本田位公子会長、上野雅子理事長、村松濱代顧問の挨拶の後、ご来賓の東京高校同窓会矢沢秀一会長様よりご祝辞を頂き、次いで、村山隆校内幹事長より出席職員の紹介を頂いた後、知念義裕副会長（副校長）に学校の近況報告と乾杯の音頭をとって頂き、宴に入りました。

半世紀以上の年齢差のOB・OGが交流するという同窓会ならではの楽しい時間を過ごし、最後に常任幹事の関根秀夫氏（28期）指導で恒例となった校歌を全員で斉唱し、「フレー！フレー！・東実」のエールと拍手で散会となりました。

ご多忙中のところ、ご出席下さいました皆様には、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。次年度も是非ご出席下さいますよう、お願い申し上げます。（総務部）



平成26年度 同窓会組織図



平成 26 年度 事業計画

I. 総務部…定期総会及び庶務一般に関する事業

1. 平成 26 年(第 34 回)定期総会・懇親会の開催

① 定期総会

- ・日 時：平成 26 年 5 月 31 日(土) 15 時開会
- ・場 所：プラザ・アペア 3 階「羽衣」

② 懇親会

- ・日 時：総会終了後、3 階「鳳凰」にて開催
- ・参加費：3,000 円 但し、卒業後 3 年以内の会員は招待とする。

2. 庶務一般関係

- ① 会員の名簿の整理及び作成
- ② 各期同窓生に対し、同窓会事業の参加促進活動
- ③ 卒業記念アルバムの管理
- ④ その他(会議開催・学校行事参加など)

II. 事業部…年間行事等に関する事業

1. 第 31 回懇親旅行の実施

- ・日 時：平成 26 年 9 月 27 日・28 日(土・日)
- ・場 所：群馬県伊香保温泉 「ホテル小暮」 泊
- ・会 費：25,000 円

2. オープンハイスクール(東実祭)の参加

- ・日 時：平成 26 年 11 月 15 日(土)
- ・催 し：同窓会の部屋の設置／校章入りドラ焼き販売／その他

3. 平成 27 年度新年会の開催

- ・日 時：平成 27 年 1 月 31 日(土) 17 時 30 分開宴
- ・場 所：東京都港区高輪「品川プリンスホテル」
- ・会 費：7,000 円 但し、卒業後 3 年以内の会員は招待とする

III. 会計部…会計・予算の総括に関する事業

1. 会計関係

- ① 各事業に係る会計報告並びに会計業務全般
- ② 母校 90 周年事業に対して 1,000 万円の寄付

2. 予算及び決算関係

- ① 当該年度の収支決算書の作成
- ② 新年度予算案の作成

IV. 企画部…新規事業の企画及びHPに関する事業

1. ホームページ関連

- ① 随時更新及び年間行事等の情報提供
- ② 広報活動
- ③ アクセス数の推進活動

2. 同窓生及び教職員関係者内の有名人・著名人のリストアップ

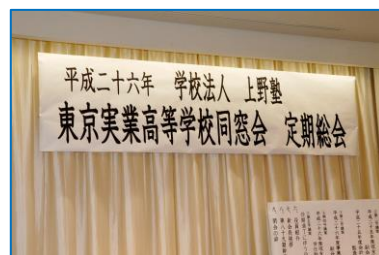
3. 新規事業の企画立案

V. 会報部…同窓会会報誌に関する事業

1. 第 26 号(平成 27 年 3 月 1 日発行)の編集・出版
2. 広告掲載企業の募集

主な行事報告（懇親旅行・オープンハイスクール・拡大幹事会・新幹事懇親会・新年会）

平成26年年度定期総会・懇親会



懇親旅行

第31回の懇親旅行は、平成26年9月27日～28日（土・日）に25名の参加のもと、群馬県伊香保温泉に下表の行程で、懇親旅行を実施しました。

【行程表】

27日	学校発 ⇒ 環八 ⇒ 練馬 IC ⇒ 渋川伊香保 IC ⇒ 水沢うどん（昼食） ⇒ 水沢観音 ⇒ ホテル木暮着（宿泊）
28日	ホテル木暮 ⇒ 伊香保石段街散策 ⇒ 上州物産館（昼食・買い物） ⇒ 伊香保 IC ⇒ 練馬 IC ⇒ 環八 ⇒ 学校着

今回の旅行は、トイレ付、ドアが二つ付いているベンツの豪華大型観光バスを貸切り、ゆったりとした行程を企画しましたので、参加された皆さんには、いつも以上に喜んで頂けたのではと思います。

宿泊したホテル木暮は、天正年間より400有余年の歴史を持つ「伊香保温泉一番湯の宿」、ロビーからは谷川連峰が一望でき、温泉も伊香保一の湯量を誇る老舗のホテルです。また、大正ロマン竹久夢二が愛した宿としても有名です。

帰路は、環八で渋滞にはまりましたが、皆さんお疲れでゆっくりくつろいでいる中、学校へ到着致しました。

来年はもっと皆様に喜んで頂けるように企画いたしますので、大勢の皆様のご参加をお待ちしております。（事業部）



オープンハイスクール (東実祭)

平成 26 年 11 月 15 日 (土) に開催されたオープンハイスクールに同窓会も昨年と同様に「同窓会の部屋」を設け、会員の作品展示、歴代の卒業記念アルバムの公開、定期総会・懇親旅行等の行事に撮ったスナップ写真をモニターに映し、当会の活動状況を紹介しました。

また、恒例となった「校章入りどら焼き」販売は、昨年より 500 個多い 2,000 個を仕入れたこともあり、500 個ほど売残った為、学校を通して交流のある養護施設に寄付させて頂きました。(事業部)



新幹事懇親会

平成 26 年 12 月 5 日 (金) 午前 11 時 30 分より、O3 B教室において各クラス (11 クラス) から 2 名ずつ選出された平成 26 年度 (平成 27 年 3 月卒業・第 90 期) 幹事 22 名と、知念義裕副校長、小川欽也学年主任、担任の先生 11 名にご出席頂き、昼食会を兼ねた懇親会を開催しました。

当日は、本田位公子会長の挨拶に次いで、中山勝博氏 (第 34 期) の講話後、出席した 22 名の幹事の中から、代表幹事 (◎印) 1 名と副代表幹事 (○印) 3 名が選出されました。なお、当会の出席者は会長の他、川邊國造・酒井利夫両副会長と米倉美鈴常任幹事 (事務局) が出席し、総勢 40 名の出席者となりました。

新幹事及び担任の先生は、下表の名簿の通りです。
(総務部)

平成 26 年度 (第 90 期) 同窓会幹事名簿

クラス	担任 (先生)	幹	事
MA	村上 信人	根橋 正也	◎真名子祐介
MB	佐藤 卓司	高橋 一馬	高橋 和志
MC	松田 稔	板橋雄次郎	田中 裕朔
EA	藤田 稔	高橋 諒	竹本 祐太
EB	上原 直輝	田代 有己	川村 大地
IT	深川 剛	◎羽田 克萌	恵 皓生
OA	高橋 修	藤本 一輝	森 大輝
OB	原田 忠彦	○佐藤 優子	○本荘 和音
OC	片山 智裕	林 朋樹	叶 瀚涛
OD	寺岡しのぶ	濱田 隼弥	野口 優人
OE	小林 正文	原 友樹	川崎 達也

※学年主任は、小川欽也先生です。

校舎建設資金への 寄付

平成 26 年 5 月 31 日開催の第 34 回定期総会において、会計部の年度事業として承認可決された母校の「創立 90 周年事業新校舎建替え資金の募集」に対する「1,000 万円の寄付」は、募集締切日 (平成 26 年 10 月 31 日) が迫った 10 月 20 日に指定口座へ振込み、実行させて頂きました。(会計部)

平成 27 年度 新年会

平成 27 年 1 月 31 日（土）17 時 30 分より、品川プリンスホテル（東京都港区高輪）・メインタワー4 階の「孫悟空」にて、ご来賓、先生方、20 代から 80 代にわたる同窓会ならではの多彩な顔ぶれが一堂に集い、総勢 79 名の参加のもと、盛大に開催されました。

参加者の中には、16 ページの TOPICS・NEWS で紹介の 87 期（平成 24 年 3 月卒）の我那覇和真・棚山健両氏がおり、箱根駅伝の報告をして頂きました。

普段は、あまり話す機会がない大先輩の方々や卒業して間もない若い方々、そして先生方と話が盛り上がり、大変有意義な楽しい時間を過ごし、最後に全員で校歌を斉唱して閉会しました。

ご多忙のところ、ご出席頂きました皆様には、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

同窓生の皆様、また来年も是非ご出席下さいますようお願い申し上げます。（事業部）

拡大幹事会

平成 26 年 11 月 28 日（金）午後 6 時から、「プラザ・アペア」において、拡大幹事会を開催しました。

●出席者: 27 名

同窓会役員：21 名、学校関係者：6 名

●会議(18:00～18:30)

本田位公子会長、上野毅名誉会長（学校長）の挨拶の後、知念義裕副会長（副校長）より、学校の近況並びに各部活の活躍ぶり等を報告して頂き、議事に入り次の議題について討議しました。

- ①オープンハイスクールについて（収支報告等）
- ②新幹事説明会開催について（開催日時等）
- ③新年会開催について（開催日時等）
- ④各部報告（総務・会報部他）
- ⑤その他（創立 90 周年記念事業への寄付他）

●懇親会(18:35～20:00)

会議終了後、同会場にて懇親会が開催され、上野雅子理事長の挨拶の後、原田忠彦副幹事長から出席教職員（校内幹事他）の紹介と乾杯の音頭をとって頂き、宴に入りました。本会を通じて、相互理解を深めることにより、一層の協力関係を構築し、同窓会運営に取り組んでいきたいと思ひます。（総務部）

お願い！

本誌、創立 100 周年記念号の発刊に際し、会員さまからの在校時代の思い出の写真や随筆を募集しております。ご協力頂ける方がいらっしゃいましたら事務局までお申し出下さいますよう、お願い致します。（総務部）

①



②



③



④



⑤



新年会写真

- ①開会挨拶(本田位公子会長)／②歓談(食事)／
③箱根駅伝の報告(我那覇和真・棚山健両氏)／
④教員紹介／⑤閉会手締め(渡邊正信常任幹事)

同期会 (第 38 期)・叙勲授章の報告

卒業50周年記念 「一泊旅行クラス会」



日下部 銑五郎 (第 38 期)

♫ 赤い夕陽が 校舎をそめて ♪
 ♫ ニレの木陰に 弾む声 ♪
 ♫ ああ 高校三年生 ぼくら ♪

私達は卒業時同学年で歌手舟木一夫のデビュー曲「高校三年生」が爆発的にヒットした時、機 3C大塚三郎クラスの仲間です。入学時の校長は上野熊蔵先生で、卒業時は上野幸一先生でした。

校則は男子生徒 5 分刈坊主頭、コートは膝下 10 cm、そして喫茶店への出入りは不可でした。

偶然にも以前NHKテレビ放映にて都道府県対抗高校駅伝東京都代表として我那覇君が 5 区を走っていた時に「東京実業高校」の字幕が映り、びっくりしました。

あとで知りましたが、全国高校駅伝の平成 22・23・24・25 年度に東京都代表として都大路を走ったとのこと、大変立派だと思いました。当時のクラブで全国的であったのはレスリング部でした。'64 年東京オリンピックが過ぎ仲間は成人となり、ボーリングが大ブームの時代で、小グループでの各々の出会いがあり、いつしか大塚先生を交える「クラス会」と進行し、場所は蒲田駅周辺や川崎駅界限が多く、数年前より幹事は 50 音順 2 名の順送りとなりました。仲間に起業家が多く活躍の場も広く、福岡・兵庫・静岡などより駆け付け、特に先生は前橋よりいつも参加して頂き日帰りの強行日程もありましたので、次回は一泊というプランも出始めてきておりました。

一昨年 (平成 23 年)、経田久夫君と私が幹事になりましたが、東日本大震災でその年は中止となり、翌年 50 周年記念「一泊旅行クラス会」を三浦半島温泉リゾートホテルで開きました。宴会中帰宅の終電も何も気にせず、互いに大いに語り合い、カラオケに興じ、

♫ フォークダンスの 手をとれば ♪
 ♫ 甘く匂うよ 黒髪が ♪

白い髭を長く生やして歌い続けていました。



平成 24 年 10 月 28 日 (日) クラス会参加者

本記事は、前号に掲載しましたが、校正ミスがありましたので、再掲載させて頂きました。
(会報部 川邊)

叙勲授章



飛田 昭 (第 38 期)

拝啓 初冬の候 同窓会の皆様方益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨日は授章に対するご挨拶を賜り感謝申し上げます。

去る 11 月 3 日の新聞にて報道がありましてとおおり、はからずも秋の叙勲授章に決まり、11 月 5 日に神奈川県黒岩祐治知事より勲記勲章の伝達式を受け、「旭日小綬章」授章の栄に浴しました。「旭日小綬章」は県下で 5 名が対象になっています。

去る 11 月 11 日に夫婦ともども、皇居へ参内し、「豊明殿」において天皇陛下に拝謁の栄とお言葉まで賜り感謝の極みでございました。

今後は、この榮譽に恥じないよう一層精進いたす所存でございます。

末筆ながら皆様のご多幸とご健康をご祈念申し上げます。

敬具

平成 26 年 11 月 28 日



表彰状と勲章 (平成 26 年 11 月 3 日)

飛田 (ひだ) 昭君は、神奈川県座間市議会議員を昭和 59 (1984) 年から平成 24 (2012) 年まで 7 期 28 年間務められ、議員在職中に各常任委員会の委員長を始めとして、市議会議長まで務め、座間市の発展にご尽力されました。

この度、その功績が認められ、平成 26 年秋の叙勲で「旭日小綬章」を授章されました。同君は東実 3 年時の簿記部部長であり、その学力はかなり優秀で 3 年間机を並べていた級友として、目標となる人物でした。

この 20 年近く、毎年 1 回実施している簿記部 OB 会に同席している親しい友として誇りでもあり、心よりお祝いを申し上げますとともに、同窓会の皆様にご報告する次第です。(同窓会副会長 第 38 期 川邊 國造)

特集 創立 90 周年によせて

素晴らしい出会いに感謝



元副校長 青木 英二

東京実業高校創立 90 周年を、同窓会員や教職員の皆さんと心から喜び合いたいと思います。

92 年の歴史の中では、創立 1 年後の関東大震災と太平洋戦争の空襲で 2 度校舎が全焼しました。しかし、教職員、生徒、父母、同窓生の方々の努力で、その困難を乗り越え、現在まで立派に東実の教育を発展させてきたことに、改めて感慨を深めています。

私が東実に就職したのは、昭和 42 (1967) 年に交換留学が始まり、米国から生徒 6 名と先生 1 名が来た年でした。就職したはじめの頃は緊張と不安でいっぱい、沢山の失敗もしましたが、先輩の教職員の皆さんが非常に良く接してくださり、指導して頂きすぐに溶け込むことが出来ました。教師としての生活がスタート出来たことに、今でも諸先輩には大変感謝しています。

実は 67 年度は、創立以来 1 度だけですが、同じ年度に学年は異なりますが、2 回修学旅行が行われました。修学旅行の形態が変わった年だったので、偶然重なったのですが、担任をしていなかった私は 2 度引率として加わりました。1 回目は 10 月で、機械科 5 クラスと東北への旅行でした。私は自分が小・中・高生の時、一度も修学旅行には事情があって参加していませんでしたので、引率は大変でしたが、生徒と一緒に楽しい思い出しました。特に、青森県の蔦温泉は古い旅館でしたが印象深く、その後も個人として何回も宿泊しました。

2 回目は翌年の 3 月の春休み中で、山陰・山陽の旅でしたが、この時は 1 クラスずつ分かれての旅行で、商業科 1 クラスに担任の志賀先生と私とそれに当時の教頭の滝先生と一緒に、1 クラスに 3 人の引率がつきました。引率の教師が多いことに生徒は戸惑ったのではないかと思います。この 2 回の修学旅行は、今でも印象に残っています。

教師生活 40 年の中で、数え切れないほど多くの生徒と接しましたが、やはり最初に担任をした機械科のクラスの生徒たちが、今でも強く印象に残っています。私は 2 年生の時から担任したのですが、全員が卒業まで良く頑張りました。卒業後も何回かクラス会をやり、今でも年賀状のやりとりをしている人もいます。現在この卒業生たちは 60 歳を過ぎています。その十数年後に、女子商業科の最後のクラスの担任をしました。女子のクラスの担任は初めてでしたので、明るく活発な生徒たちに戸惑いました。また、色々問題を起こす生徒もいて大変でした

が、楽しい 3 年間でした。現在この生徒たちは、自分の子どもの子育てを終わる年代になっています。今考えると、力不足で多くの生徒に迷惑をかけたこともあると反省することもあります。自分なりに真剣に接してきたと思っています。

私は平成 15 (2003) 年から副校長を 4 年間務め、その間、同窓会の副会長を務めさせて頂きました。それまでは、同窓会の活動について詳しくはありませんでしたが、役員の方々に助けられて無事に任務を果たすことが出来たことに、感謝しております。元会長で顧問の村松濱代さんには、ご自分が歩いて旅をしたお話を聞いたり、歩いた道の記録を頂いたりしました。私はそれに触発されて、退職後、江戸時代の街道を歩く旅を続け、ついに、日本橋を起点とする 5 街道は全部歩くことが出来ました。東実で出会った教職員、生徒、同窓会、保護者の皆さんに心から感謝しています。

戦時中の体力章検定



村松 濱代 (第 17 期)

東京実業学校は大正 11 (1922) 年に神田で創学し、昭和 11 (1936) 年に蒲田の地に新校舎を建設し、神田から蒲田に移転しました。

新校舎に最初に入学したのは、16 期の生徒からでした。私は翌年の 17 期生で、160 名程入学し、クラスの名は、忠、立、修と名付けられ、時代に相応しない古風なクラス名でした。3 年生になった頃から、A、B、C の名称に変わりました。

入学した当時から毎月、月初めの日には、全校生徒で J R 蒲田駅東口から約 1km 先の京急蒲田駅の直ぐ手前に在る、「蒲田八幡神社」に参拝しました。その当時の全校生徒の数は記憶がありませんが、旧制高校の時代 (5 年制) ですから、少なくとも 500 名位の生徒数で、3 列を組んで歩くと同様な長い列になりました。学校の正門は現在の体育館の角の所で、宮野先生が指揮を執り、校旗を先頭にして、現在の吹奏楽部の元であったラッパ部の部員が、全員白色の脚絆を履き行進ラッパを吹き颯爽と進み、その後を 5 年生の先輩達が全員で、三八式歩兵銃を肩に背負い威風堂々と隊列を組み、その後を 4 年生、3 年生、2 年生、1 年生と進み隊列も崩さず学校から 3km の距離を整然と行進し、八幡神社に全校生徒で参拝した光景は、町の人々が見て「教育の良く出来た学校」だと思ったことでしょう。(次頁に続く)

現在の交通量ではとても不可能なことです、自家用車の全くない時代で、荷物を運ぶのに馬車や荷車が使われ、自転車に乗っている人も少なかったと思います。タクシーもごく少なく、料金は 1 区画 50 銭位の時代ではなかったかと思います。

宮野先生の階級は准尉でしたが、一般に言う、生徒課の業務を兼ねておられ、生徒に教える科目は「教練」と言って、生徒が将来軍隊に入って直ぐに役に立つように軍規や軍隊の役目、戦争の仕方、等の基礎的な知識を教える学課で、主に野外での教育でした。当時は学校教育の重要な科目で、優秀な陸軍の軍人が文部省から各中学、専門学校、大学の男子校に配属将校として派遣されていました。宮野先生は教員の免許があったかどうか知りませんが、学校では必要な先生で、字が達筆で特に毛筆は素晴らしい字を書かれ、体操の教師でもあり、鉄棒の技術は生徒が眼を見張るばかりの技を見せ、休み時間、放課後、お暇な時、等には鉄棒の練習をしていました。私を含めて運動の好きな生徒は、先生が鉄棒をしている時には傍に行き、鉄棒を教えてもらいました。

懸垂、尻上がり、蹴上がり、大車輪、と長い期間の間に徐々に、その技と呼吸と、筋肉の使い方を習いました。鉄棒は毎日の練習と努力が必要です。鉄棒を握る掌(てのひら)の皮に何回も水ぶくれの豆が出来、それが潰れると中から水が出て、空気に触れると、ヒリヒリと痛み、鉄棒から何回となく手が離れて落下し、痛い思いをさせられました。

当時、青少年の体育向上の目的で「体力章検定試験」の制度が文部省の中に設けられ、中学校以上の学校で「体力章検定試験」が実施されました。段階は上級、中級、初級、無級の 4 段階に分けられ、その検定試験の中の 1 種目が初級だと、その他の種目が上級、中級を取っていても、下のランクの級になってしまう大変難しい検定試験でした。各種目に合格する詳しい制度の内容は忘れましたが、検定種目の中には、

- 100mの駆足 (かけあし)
- 200mの駆足
- 走り幅跳び
- 鉄棒の懸垂 (上級は 15 回)
- 砂の入った俵 (上級は 60kg、中級は 45kg、初級は 30kg) を担いで 100m を或る秒数で駆足
- 手榴弾投げ (上級は 45m)
- 30kg の砂袋を背負い 1 万 m の競歩
- 水泳

……等がありました。

これらの競技で、上級が取れなかった原因は、鉄棒の懸垂を 15 回が出来なかった人が一番多かったようでした。その点、私は宮野先生に鉄棒を習ったので、私には一番楽な試験でした。お蔭様で私は難関の上級を頂けました。

各級に合格すると、学生服の襟に付けるバッチ (上級は金色、中級は銀色、初級は茶色) が支給されました。

当時、学生の中で襟章に金色のバッジを付けている者はごく少なく大変名誉でした。

あれから60年



関根 秀夫 (第 28 期)

昭和 25 (1950) 年学校教育法改定による六・三制最後の卒業生として、世田谷区立奥沢中学から「アチーブメント・テスト」の結果をもって、上野塾東都高等学校に願書を提出し、即入学を許可されました。

校長は上野熊蔵先生、担任は上野幸一先生、数学は上野繁先生、設計・原動機は宮本先生、優しく紳士な先生でした。国語は鷹野先生と粕谷先生、この授業はとても面白く、殆ど先生のお話だけを楽しみにしていました。

当時のクラスメートは、東実中学出身者が多く、区立中学校から来た私は、少々肩身が狭い思いをしました。

学科は機械科と商業科だけで、校舎は L 字型の平屋建て、目蒲線 (現在の東急多摩川線) からよく見えました。話は変わりますが、中学 5 年制から高校 3 年制が変わるとき、大田高校 (現田園調布高校) が新設され、また、雪ヶ谷女学校も男子生徒を募集していて、両校から何度かお誘いをうけました。あの頃は「女学なんて…」と、ちょっと粋がつてしまい、今考えると惜しいことをしてしまったと思います。後で聞いた話ですが、雪ヶ谷女学校には 10 名程度の男子の入学があったそうです。残念ながら、東都高校は受付のおばさんだけ、私の通学路は東横線自由が丘から目蒲線蒲田まで、自由が丘も蒲田も、闇市の大盛況、学校帰りはとても楽しかった。2 年生のときに、校名が東京実業高等学校と改名され、東京中学とは分離されました。クラブは、野球、庭球 (テニス)、排球 (バレーボール)、籠球 (バスケットボール)、音楽とありましたが、いずれも活発ではありませんでした。私は野球部に入部しましたが、道具もグラウンドもなく、キャッチボールが主で、対外試合は都立一商と新設大田高校の 2 試合だけ、いずれも負けてしまいました。高校生活は長いようで短く、時代は朝鮮戦争の真只中、3 年生の宿命、進路について、あれこれ考えましたが就職は買い手市場…、といって進学は経済的に…と、試行錯誤しましたが、結局学校に求人に来ていた企業に就職して、進学は二部を選択しました。こんな気持ちでいた者も多かったようです。こんなときに、当時の東実応援歌を思い出します。

① 東都に光る東実の 伝統輝く 20 年鍛えにきたえたこの体 粘り頑張る我が選手

② 団結堅き健児等の 見よやこの腕この体 フェアプレーも鮮やかに 粘り頑張る我が選手

斯くて我々 28 期生 60 名は、「親和誠実」のもと、青春を謳歌しました。東京実業高等学校を巣立ち、進学に実社会へ、そして今があります。

“ 過ぎ去りし 過去は何ともしがたいが

穏やかに希望のもてる 傘寿なり ”

尻たゝき棒



塩澤 三郎 (第 19 期)

私の孫娘の話です。三人姉妹であり、長女は学校の成績もよく、何事もきちんとしていて模範生です。三女は末っ子の地位よろしく、徹底した甘えん坊でもあります。真中の次女は口数も少なく、目上の者に逆らうこともなく、何を考えているのか分からない子でした。

長女が中学に入る頃、父と別れて親子 4 人が我が家に身を寄せていた時がありました。次女が中学を卒業する時、私は卒業式に参列しました。式が終わって卒業生が次々と式場から退出して来ると、在校生が両側に並んで拍手でこれを迎え送りました。卒業生の大半は嬉しそうに満面に笑みをたたえ、在校生の拍手に応じていました。次女が出て来ると、余程の思い出があったのでしょうか、目に一杯の涙を湛え泣きはらしていました。その後まもなく、娘と孫三人は我が家を去り自立して行き、彼女等が去った後に 50cm 位の長さの細い板に「尻たゝき棒」と書いた板片が残されていました。

次女は余り成績が良くなかったようですが、心に思うところがあったらしく、努力して何とか県立高女に滑り込みました。大学は東北工大へと進み空手部に入るような変わり者でした。就職はこれまたビックリ、KDDI に決まり気を揉ませましたが、世話のかからない子ではありました。勤めが始まり上京する時、私が「何か困ったことがあったら必ず電話をよこせよ」というと、やはり心細かったのか「おじいさん必ず電話するからね」と言っていました。そんなことで電話をよこしたことはありませんでした。そんな中、珍しく 3 年前、「ハワイで結婚式を挙げるから出席して欲しい」と云ってきました。来春、第一子が誕生の予定、誠に目出度し、目出度しです。彼女は結婚して両親と祖母の居家に入りましたが、今時こんな嫁は珍しいと思います。私は孫に朝出掛ける時や帰って来た時には、「おばあさんに挨拶しなさいよ」というと「おじいさん、ちゃんとやっているよ」と誠に素直な答えが返って来ました。一家の中心になって幸せに暮らすだろうと思っています。

話は変わりますが、仙台に東京中学校出身の久世敏生君という陸士の同期生がおり、同期生会には毎回出席している温厚な友です。彼は戦後、高等師範を出て教育界一筋に、校長を歴任し、教育委員会に席を置き一生教育に携わりました。彼がある時、「オイ塩澤、これを読んでおけよ」と一冊の本を私にくれました。それは上野清先生の漢詩集でした。当時、私は桜美林大学教授石川忠久先生の「漢詩を読む」という NHK のラジオ放送を殆ど漏らさずに聞いていて、漢詩には興味があったので、彼の好意は大変嬉しく思いました。

この漢詩集を通じて、上野清先生が中等教育に如何に精魂を込められたかを知りました。明治の人はすごいなと思います。先生は安政元 (1854) 年の誕生で、徳川幕府の学問所であった昌平黉は廃止されましたが、先生はその流れを汲むのではないかと思います。そして、大正 12 年 (1923 年) の関東大震災には東京の惨状を一首に残され、それを絶筆として翌 13 (1924) 年に他界されました。

関東大震災では上野塾も大被害を受けた模様で、先生の受けた打撃も大きかったと思われます。しかし、上野塾は後継者によって、蒲田多摩川沿いに東京中学校、東京実業学校が設立され、先生の志は受け継がれ今日に至っています。

今、中・高校教育は“いじめ、問題等を始め、いろいろな問題を抱え、大変だという話を聞きます。しかし、己の目指す目標を見つけて、それに向かって己を叱咤激励することが出来るのも、若いこの年代だと思います。

私は今、孫に教えられたような気がして、又よき友の友情に感謝しつつ、上野清先生の高邁な理想に尻を叩かれる思いで、背筋を伸ばして元気に歩いております。

TOPICS・NEWS

◆ 2014 年ドラフト 6 位で楽天入り! ◆

●加藤 正志氏(かとう・まさし/第 83 期・幹事

⇒鶴見大学⇒JR 東日本東北⇒東北楽天)

本校初のプロ野球選手が誕生いたしました。

加藤氏は平成元 (1989) 年 9 月 7 日、横浜市生まれ。25 歳。東実では 2 年秋からエースで、3 年夏に東東京大会 4 強。鶴見大では 4 年秋の神奈川大学野球リーグで最優秀投手賞を受賞。J R 東日本東北では都市対抗、日本選手権にも出場。173 センチ、71 キロ。右投右打。背番号 52。血液型 A。

◆ ユースオリンピックで金メダルに輝く! ◆

●小野川稔君(おのがわ・みのる/2 年在学・陸上競技部)

平成 26 年 8 月 16 日～28 日に中国・南京で行われた「第 2 回ユースオリンピック競技 2014」に出場し、男子 1 万メートル競歩で、自己ベスト (42 分 3 秒 64) のタイムで金メダルを獲得。

(加藤氏・小野川君の記事については、4 ページの「学校近況報告」にも、掲載されています。)

◆ 91 回 (2015) 箱根駅伝に同窓生 2 名が出場! ◆

●我那覇和真氏(かなは・かずま/第 87 期⇒神奈川大学 3 年)

3 年連続で出場し、今年は往路 1 区 (大手町～鶴見間、21.3 キロ) を 1 時間 02 分 34 秒で走り区間 6 位。

●棚山 健(とちやま・けん/第 87 期⇒拓殖大学 3 年)

復路 9 区 (戸塚～鶴見間、23.1 キロ) を 1 時間 12 分 12 秒で走り区間 17 位。

返信ハガキ備考欄より

平成 26 年新年会（1 月 25 日開催）及び平成 26 年定期総会・懇親会（5 月 31 日開催）開催のご案内通知の「返信ハガキの備考欄」の記述文を抜粋しました。

●松永 千里(第 15 期・欠席)

元気に過ごしております。母校の益々の発展を心からお祈りします。

●宮田 昇(第 17 期・欠席)

本田会長さんお元気ですか？

●武江 勇(第 19 期・欠席)

19 期の人に宜しくお伝えください。
元気で居ますと…

●小出 与三(第 19 期・欠席)

“散る桜 纏って踊る 宴盛り,,
※小出氏のご高齢になられ、ここ 3 年余り行事は不参加でしたが、返信ハガキに俳句や近況報告等を記述して、返信して下さいました。ご家族様より昨年 11 月にご逝去された旨の報を頂きましたが、昨年の定期総会のハガキに俳句が記述されていたので、ご冥福をお祈り申し上げると共に、在りし日のお姿を偲び、ご紹介させて頂きます。(会報部)

●原川 清(第 25 期・欠席)

母校が全国高校駅伝に出場したことを誇りに思います。そして今年（2014 年）は新校舎が完成し、益々の発展を願っております。

●早川 芳三郎(第 29 回・欠席)

上野熊蔵校長先生の時代である昭和 28 年頃から定時制の機械科に学びました。教室の私達の手元に月明かりが射していました。懐かしいです。

●浜住 芙美枝(第 34 期・欠席)

会報を送付頂き、有難うございました。
現在の母校は、沢山の科がありますが、私が入学した昭和 31 年 4 月は、女子部として 3 年目、一クラスのみの募集だったと思います。とても懐かしく思い出されます。54 年前のことです。

●鈴木 正(第 34 期・欠席)

3 箇所の病院へ通っていますが、元気に散歩しております。今年（2014 年）も全国高校駅伝へ出場を！ 頑張ってください。

●岡田 清(第 35 期・欠席)

新校舎の完成が待ち遠しいですね。
高大連携で学習意欲を高める等、今後が楽しみです。

●加藤 勝(第 35 期・欠席)

野球部、駅伝競走 “ガンバレ,,

●遠藤 義久(第 35 期・欠席)

東実同窓会報いつも有難うございます。

●菅谷 純夫(第 35 期・欠席)

智有使之出 智無使之入

●久保田 康英(第 36 期・欠席)

同窓会報楽しみにしております。感謝！

●栗原 信子(第 37 期・欠席)

3 年前、何となく聞いていたラジオで、東実が駅伝競走に出場していることを聞き、びっくり致しました。
12 月になると楽しみに応援しています。

●大澤 秀子(第 38 期・欠席)

去年の会報(24 号)に懐かしい花房先生との書簡(先生から教え子への手紙)を嬉しく拝見しました。
久しぶりに先生に T E L しました。先生はお元気で何より嬉しかったです。これからも宜しく！

●鈴木 昭彦(第 38 期・欠席)

同窓会報送付有難うございます。東実後輩の活躍、同窓会役員の皆様のご活躍頼もしく思っております。
38 期機械 3C のクラス会も最近活発です。また、今回の会報にて 1 名の所在が判明しました。ありがとうございます。

●飯塚 守昭(第 38 期、野球部・欠席)

昨年の都大会ベスト 4 立派でした。応援にも力が入りました。38 年卒同窓、先輩とともに声を上げて応援！今年（2014 年）の夏も期待して応援に行きます。
※山下監督頑張ってください。

●大迫 明美(第 41 期・欠席)

いつも欠席で申し訳ありません。
現在、腰痛の為、仕事を休んでいますが、マックで制服(東実)は変わってしまいましたが、東実の子(後輩)が来店するとつい声をかけてしまう私です。

●臼井 恵子(第 54 期・欠席)

同窓会報、ありがとうございます。

「平成 27 年 定期総会」 開催のお知らせ

平成 27 年(第 35 回)の定期総会は、下記の要領で開催いたします。

記

日時：平成 27 年 6 月 6 日(土) 午後 3:00～6:00

場所：プラザ・アベア(蒲田駅南口)

会費：3,000 円(懇親会参加者のみ)

総会終了後に懇親会を開催いたします。

卒業後 3 年以内の会員は招待とし、会費は無料ですので、お気軽にご参加下さい。(総務部)

発行済みの会報誌の閲覧について！

発行済みの第 1 号(平成 2(1990)年 6 月 1 日発行)～第 25 号(平成 26(2014)年 3 月 1 日発行)は、同窓会ホームページに掲載しております。ぜひ、一度ご覧いただき、当会の歩みを御理解頂ければ幸甚に存じます。なお、ホームページの URL は次の通りです。

<http://www.tojitsu-dosokai.com/>

東京実業高校同窓会会員総数

第89期（平成26年3月）卒業生まで

（ ）内の数字は女子会員

			商業系	工業系	普通科	
会 員 数		総数	35, 128	14, 265	16, 495	4, 368
		うち女子	(3, 382)	(2, 612)	(7)	(763)
昼間部（同窓会） （大15～平26）89期			30, 902 (3, 150)	11, 910 (2, 382)	14, 624 (5)	4, 368 (763)
夜間部（蛭窓会） （昭 4～昭52）49回			3, 586 (228)	2, 223 (228)	1, 363	
専門学校（五葉会） （昭35～昭48）14回			640 (4)	132 (2)	508 (2)	
第89期 卒業者数		商業系	工業系			普通系
			機械科	電気科		
				電気	I T	
合計	354	0	91	69	16	178
男子	313	0	91	68	15	139
女子	41	0	0	1	1	39

物故者

下記の会員が逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）

卒 期	氏 名	没 年
第15期	寺本 貞久	平成26年 1月
第17期	叢 恒雄	平成25年
第18期	井上 通夫	平成24年 9月
第18期	中本 勝治	平成25年
第18期	坂本 光三	平成26年 2月
第19期	小出 与三	平成26年 11月
第20期	田村 守国	平成25年 7月
第20期	平川昭太郎	平成26年 4月
第22期	遠藤 孝一	平成26年 6月
第23期	加藤 光明	平成26年 1月
第25期	横山 茂	平成25年 11月
第26期	末安 義正	
第29期	荒井 輝国	平成26年 6月
第42期	後藤 正	平成23年 1月
第46期	諏訪部 隆	

※第22期・遠藤孝一氏（常任幹事）は、
長期に亘り会報部員として、本会報の発行に
ご尽力頂きました。

創立90周年記念事業「新校舎竣工」お祝い申し上げます

美しい日本語を大切に

株式会社 佐々木印刷所

☎146-0095

東京都大田区多摩川1丁目18番5号

TEL.03-3758-0710

FAX.03-3758-2821

第56期 佐々木 健

スポーツのことなら！

しろがね

白銀スポーツ

ユニホーム・スポーツ用具
用品・施設・工事一般
カップ・賞品・トロフィー

〒143-0024 東京都大田区中央8-29-7

TEL (03) 3754-8679 FAX (03) 3754-4845

第37期 白銀 正明

めっき材料総合商社

株式会社 三 松

本 社 東京都大田区西蒲田7-57-11

〒144-0051 TEL (03) 3733-7131 (代)

湘南営業所 藤沢市辻堂西海岸2-14-45

〒251-0047 TEL (0466) 34-1711 (代)

横浜営業所 横浜市中区恵比寿町7-5

〒221-0024 TEL (045) 461-6088 (代)

第17期 村松 濱代

一企画・デザイン・印刷全般一

トータルプラン株式会社

〒144-0032 東京都大田区北糞谷1-18-14

TEL (03) 5736-3447 FAX (03) 5736-3448

E-mail : total@wing.ocn.ne.jp

第38期 川邊 國造



東京大田区南馬込5-22-10
TEL (03) 3771-7100 営業時間 17:00~23:00
携帯 (080) 5375-8552 月曜定休 (祝日の場合営業)

明るいエコな未来へ
電気設備工事設計施工
山本電設株式会社
〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台 55-6
TEL:045(983)4539 FAX:045(983)6576
E-mail:yamamoto-d@rio.odn.ne.jp
代表取締役 山本 憲一
第 41 期 山本 正子

uno CO.LTD.
ビジュアルプランニングのパートナー
写真の撮影・編集・印刷・製本まで
有限会社 ウーノ 03-3891-6735
〒110-0003 東京都荒川区荒川3-6-4
KATO P.P 2F

電気通信工事関連事業
(平成 26 年度川崎市優良業者表彰受賞)
アイ通信工事株式会社
〒211-0037 川崎市中区井田三舞町 17-55
TEL:044(798)3201 FAX:044(798)3203
E-mail:aitsusin@athena.ocn.ne.jp
第 41 期 代表取締役 市川 達雄

ITソリューションサービス
 **株式会社 KHJサービス**
<http://www.khjs.co.jp/>
〒231-0023 横浜市中区山下町224番地1
山下町Kビル7階
TEL:045(226)3006 FAX:045(226)3007
第 42 期 代表取締役社長 臼田 佳彦

”省エネ”から”創エネ”へ (BTLシステム「バイオマス」のガス化による発電と液体燃料合成技術)
次世代の新エネルギー創造システム
電気・熱・燃料を創り出すトリジェネレーション!
 **株式会社 マイクロ・エナジー**
〒243-0807 神奈川県厚木市金田1137-4
TEL. 046-240-7088 FAX. 046-240-7098
<http://www.microenergy.co.jp/>
第 53 期 代表取締役社長 酒井 利夫

パソコン・一般家電 修理・販売
お気軽にご相談下さい
 **有限会社 深谷電器**
〒145-0073 東京都大田区北嶺町 29-16
(御嶽山商店街内)
電話:03(3728)1446
E-mail:NQF15990@nifty.com
第 70 期 代表取締役 深谷和弘

「広告」掲載のお願い
本同窓会誌に広告を掲載して頂ける企業・事業主の方を募集しております。本紙の広告料は5,000円(縦5cm×横8cm)、1/2スペース2,500円です。また、同窓会のホームページのトップページのバナー広告も募集しております。詳細はホームページの「広告バナー掲載について」をご覧ください。お申込みは事務局に連絡、又はホームページでお願い致します。(会報部)

祝

新校舎竣工

●会 長 第34期 本田位公子 ●顧問 (第2代会長) - 第17期 村松 濱代 ●副会長 第39期 戸田 三光	●副会長 第38期 川邊 國造 ●副会長 第37期 白銀 正明 ●副会長 第42期 臼田 佳彦 ●副会長 第53期 酒井 利夫
--	--

事務局・各部会だより（お知らせ・お願い！）

☑「同窓会行事」参加のお願い

開 催 日	行 事
1 月（最終土曜日）	新年会
6 月（第一土曜日）	定期総会
9 月（中旬～下旬）	懇親旅行
11 月（中旬）	東実祭

同窓会行事は、毎年上記の時期に開催予定となっております。詳細につきましては、同窓会のホームページで随時お知らせしておりますのでご覧ください、事務局にお問い合わせ下さい。

申込みは、電話、メール何れでも構いません。会員（同窓生）の方であればどなたでも参加出来ますので、お知り合いの先輩・同期・後輩の方にご連絡頂き、お誘い合わせのうえ、是非ご参加下さい。（事務局）

☑「同窓会報」送付のご案内

本会報は、卒業されてから 3 年迄の会員には送付しておりますが、以降は同窓会役員・同窓会行事出席者・本会報への寄稿者等にしか送付しておりません。

在庫部数に限りがありますが、クラス会・同窓会の開催の際には、事務局にご連絡頂ければ差し上げます。

ご遠慮なくお申し込み下さい。（事務局）

☑「寄付の要請」などに注意して下さい

「名簿を作成するため寄付を募っています」などのサギの電話が横行しています。

同窓会では寄付の要請は一切行っておりません。ご家族の方にも周知されて直ぐに対応しないよう“注意”して下さい。対処法として、「後日連絡を取る」ことにして、名前、住所、電話番号、卒業年度、担任の先生の名前などを聞いて、事務局にご連絡下さい。（事務局）

☑「同窓会名簿」について

同窓会ホームページを随時更新し、行事などの最新情報をお知らせしております。

年々閲覧されている同窓生が増加し、「お問合せフォーム」から住所変更等のご連絡を頂く他、「同窓会名簿が欲しい」とか、「〇期〇〇さんの住所を教えて」などの問合せが多数あります。

同窓会では、印刷した会員名簿は発行（保管）していませんが、電子媒体で管理しており、ご連絡頂いた変更事項等については、随時データを更新しております。しかし、個人情報に関する問い合わせに対しては、「個人情報保護法」等の法令遵守や悪用防止等の事由により、本人の同意を得た場合のみ、お応えしております。ご理解とご協力をお願い致します。（事務局・企画部）

編集後記

「東京実業高校同窓会会報」は、同窓会活動のご案内や母校の各科の近況・部活動の活躍状況の報告、会員の投稿文などを掲載し、同窓会の情報発信誌として創刊（平成 2（1990）年 6 月 1 日発行）から毎年 1 回発行し、本号（26 号）をもって 25 年間四半世紀を迎えます。

この間、一度も休刊をせず発刊出来たことは、本誌に携わってこられた関係者の弛まぬ努力と、投稿して下さいの皆様方並びに広告掲載頂きました各企業様のご協力とご支援があつてこそだと、感謝申し上げる次第です。

さて、本号は母校 90 周年記念事業である体育館、2・4・5 号館の建替え工事も、平成 26 年 12 月に竣工の運びとなりましたので、ページ数は平年より 4 ページ多い 20 ページで発行させて頂くことになりました。

会報部では、より充実した内容で会員のご要望とご期待にお応えするとともに、同窓会の発展に少しでも寄与していけるよう、制作に取り組んで行く所存ですので、ご指導ご鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

最後に、ご愛読して下さいの会員の皆様には心から感謝申し上げますとともに、本年も皆様方にとってより良い年でありますように祈念申し上げます。

（会報部部員一同）



東京同窓会会報 No.26 会報部

責任者 川邊 國造（副会長）
部員 箕輪 弘数（常任幹事）
竹見 佐智子（ ）
神野 行雄（ ）
佐藤 まり子（ ）
山田 慎（ ）

発行日 平成 27 年 3 月 1 日
編集 東実同窓会報 会報部
発刊 東京実業高校同窓会
事務局 〒144-0051

東京都大田区西蒲田 8-18-1
TEL 03-3732-4481 FAX 03-3732-4456
URL <http://www.tojitsu-dosokai.com/>
e-Mail info@tojitsu-dosokai.com

〔携帯〕 TEL 080-1186-8945
e-Mail tojitsu-dosokai@docomo.ne.jp

発行人 本田 位公子（会長）
編集人 川邊 國造（副会長）
編集協力 臼田 佳彦（副会長）
小野 博司（教諭）
高山 俊一（常任幹事）
米倉 美鈴（事務局）

制作 トータルプラン株式会社